

AZ780

IP Editor2

インストラクションマニュアル

(for G-NETIMPRESS)

AZ780(IP Editor2)インストラクションマニュアル

改定履歴

版	発効日	変更内容
第 1 版	2007.06.28	新規作成
第 2 版	2007.09.12	機能追加により全面改訂
第 3 版	2012.04.04	Windows7 対応
第 4 版	2019.04.15	動作環境に Windows10 追加

<ご注意>

- (1) 本書の内容を一部または全部を無断転載することは禁止されています。
- (2) 本書の内容については、改良のため、予告無しに変更することがあります。
- (3) 本書の内容についてご不審な点やお気づきの点がございましたら、ご連絡下さい。
- (4) 本製品を運用した結果における内容の影響については、(3) 項に関わらず責任を負いかねますのでご了承下さい。

©2012 DTS INSIGHT CORPORATION. All rights reserved.

Printed in Japan.

目次

1. 概要・特徴.....	4
2. 動作環境.....	5
3. 画面説明.....	7
3. 1 IP アドレス設定画面.....	7
3. 2 ポート番号設定画面.....	9
3. 3 Gateway アドレス設定画面.....	11
3. 4 サブネットマスク設定画面.....	13
4. IP アドレス設定手順.....	15
5. エラーメッセージ一覧.....	20

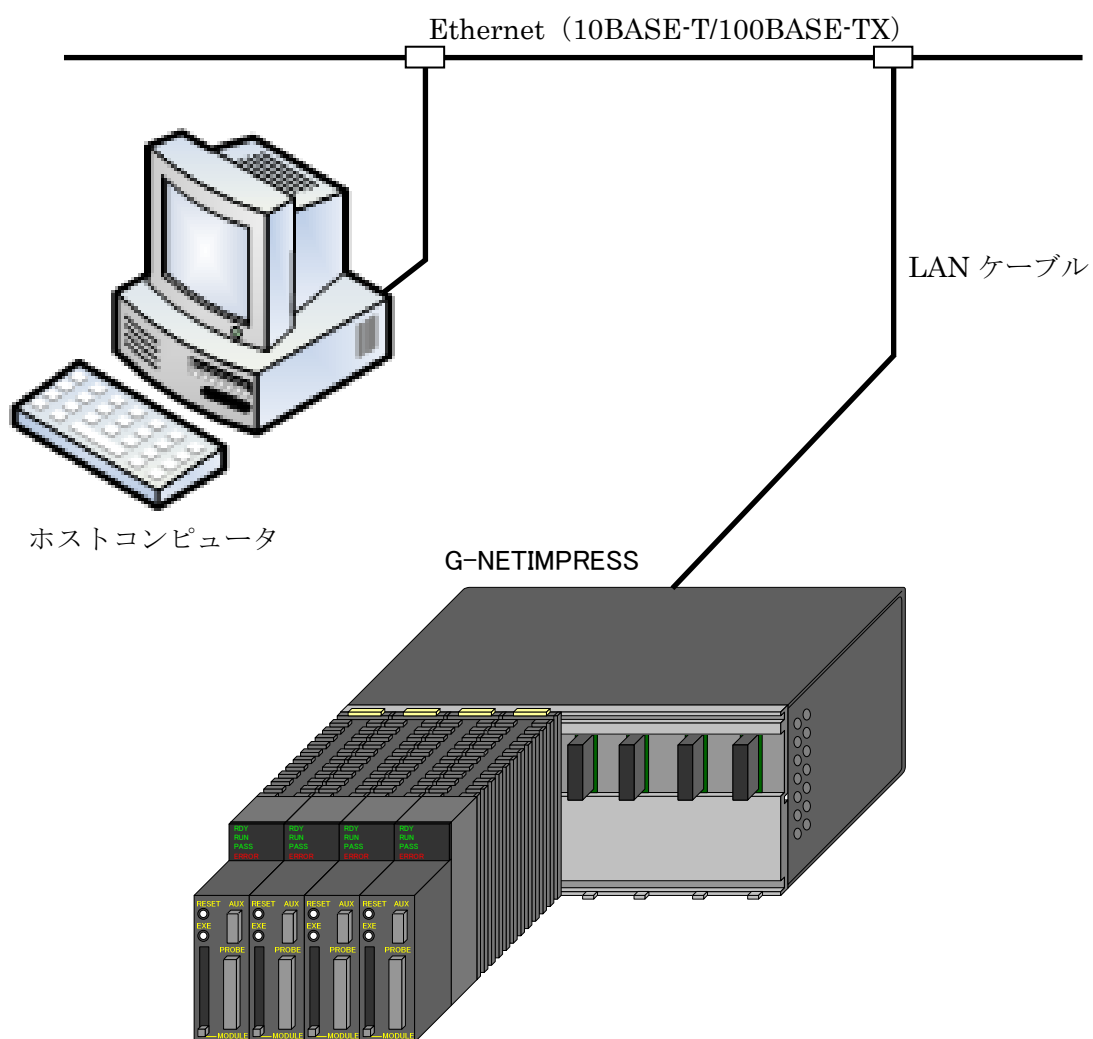
1. 概要・特徴

AZ780 IP Editor2 は、G-NET IMPRESS 用 IP アドレス設定アプリケーションソフトです。
G-NET IMPRESS の各スロットに対し、IP アドレスを設定する際に使用します。
他の NET IMPRESS シリーズ製品にはご使用頂けませんので、ご注意ください。

2. 動作環境

AZ780 を使用するには下記環境が必要になります。

- ・ IBM PC/AT 互換機
- ・ OS Windows 2000/ Windows XP/ Windows 7/ Windows 10 *1
- ・ G-NET IMPRESS
- ・ Ethernet ケーブル(10Base-T、100Base-TX)

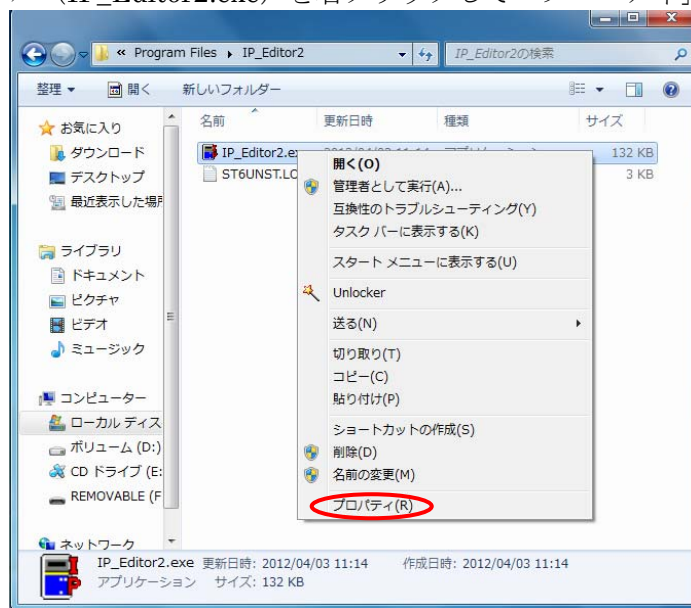


*1 : Windows7/ Windows 10 ご使用時には、下記内容をご確認ください。

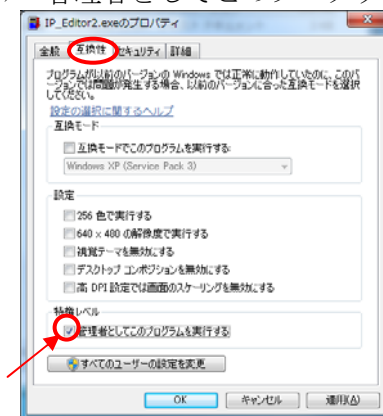
- AZ780 のインストールについて
管理者でログインした状態で行ってください。
- ソフトウェアの実行について
プログラムを実行する前に、特権レベルを「管理者として実行」に設定してください。

特権レベルの変更方法)

1. 実行ファイル (IP_Editor2.exe) を右クリックして「プロパティ」を選択します。



2. 互換性タブ上 特権レベル 管理者としてこのプログラムを実行するにチェックをいれ、



OK ボタンを押します。

3. 画面説明

ここでは本ソフトの画面について説明いたします。

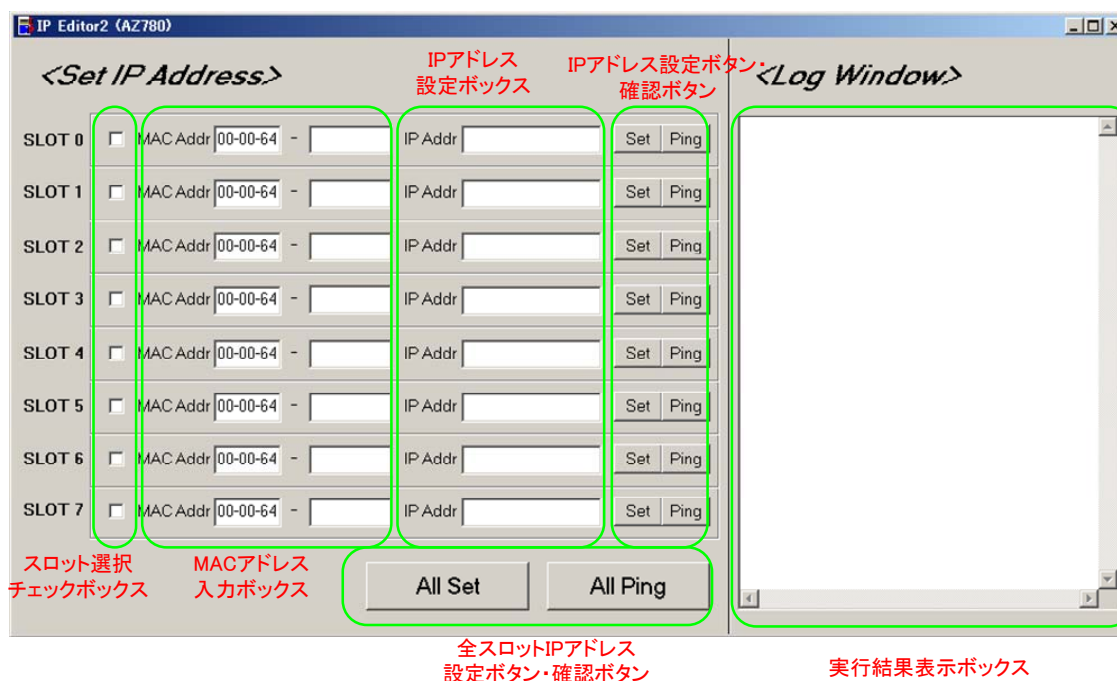
本ソフトには IP アドレス設定画面、ポート番号設定画面、GateWay アドレス設定画面、Subnet Mask 設定画面、Communication Check テスト画面、バージョン表示画面の 6 つの画面が存在します。

3. 1 IP アドレス設定画面

IP アドレス設定画面は、本ソフトウェア起動時に表示されます。

また、メニューから Settings - IP Address を選択した際に表示されます。

IP アドレスを設定することができます。



- スロット選択チェックボックス

全スロット IP アドレス設定ボタン・確認ボタンを押した際に、IP アドレスの設定・確認を行うかどうかを選択します。

チェックのついているスロットだけ、IP アドレスの設定・確認が行われます。

- ・ MAC アドレス入力ボックス

G-NET IMPRESS プログラマユニットの MAC アドレスを入力します。

上位 6 桁は“00-00-64”で固定となっております。

下位 6 桁を入力してください。

注) 途中にハイフンを挟んだ形で入力してください。(例 : 01-23-45)

- ・ IP アドレス設定ボックス

設定する IP アドレスを入力します。

例) 192.168.0.1

- ・ IP アドレス設定ボタン・確認ボタン

IP アドレス設定ボタン(Set ボタン)を押すと、入力されている MAC アドレスを持つプログラマユニットに対し、IP を設定します。

IP アドレス確認ボタン(Ping ボタン)では、入力されている IP を持つネットワーク機器(プログラマユニット含む)が、ネットワーク上に存在するかどうかを確認します。

- ・ 全スロット IP アドレス設定ボタン・確認ボタン

スロット選択チェックボックスがチェックされているスロットに対し、IP アドレスの設定と確認を行います。

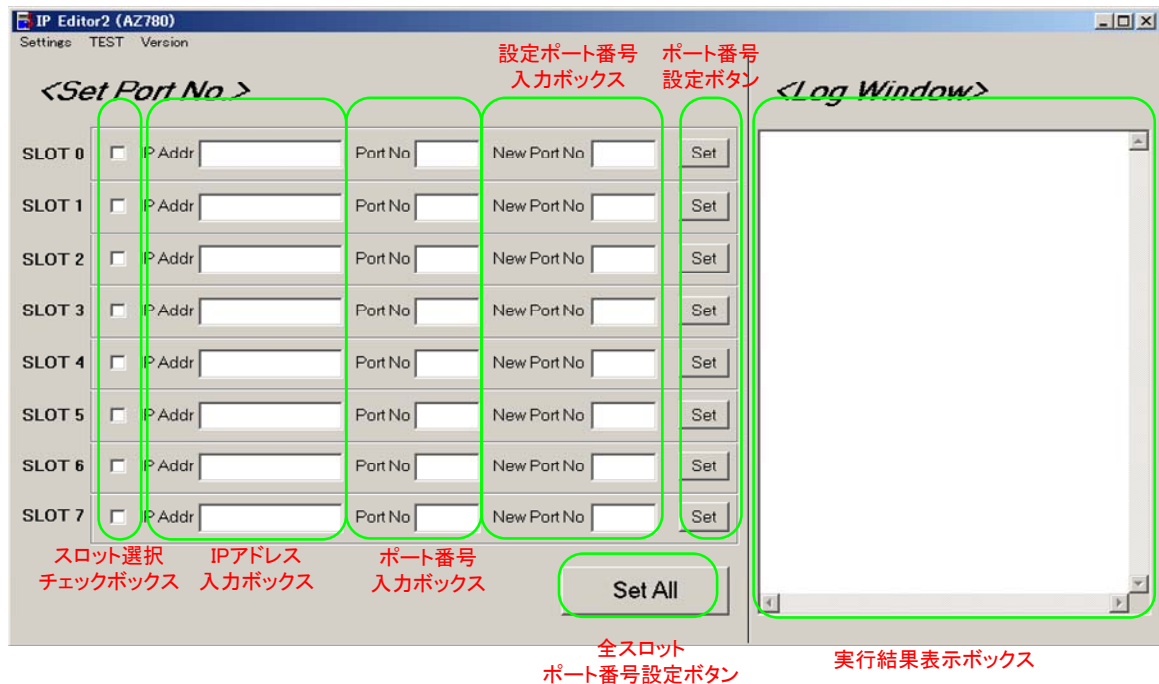
- ・ 実行結果表示ボックス

IP アドレスの設定・確認の結果が表示されます。

3. 2 ポート番号設定画面

メニューから Settings - Port No を選択した際に表示されます。

ポート番号を設定する際に使用します。



- スロット選択チェックボックス

全スロットポート番号設定ボタンを押した際に、ポート番号の設定を行うかどうかを選択します。

チェックのついているスロットだけ、ポート番号の設定が行われます。

- IP アドレス入力ボックス

ポート番号を設定するスロットの IP アドレスを入力します。

- ポート番号入力ボックス

ポート番号を設定するスロットのポート番号を入力します。

- 設定ポート番号入力ボックス

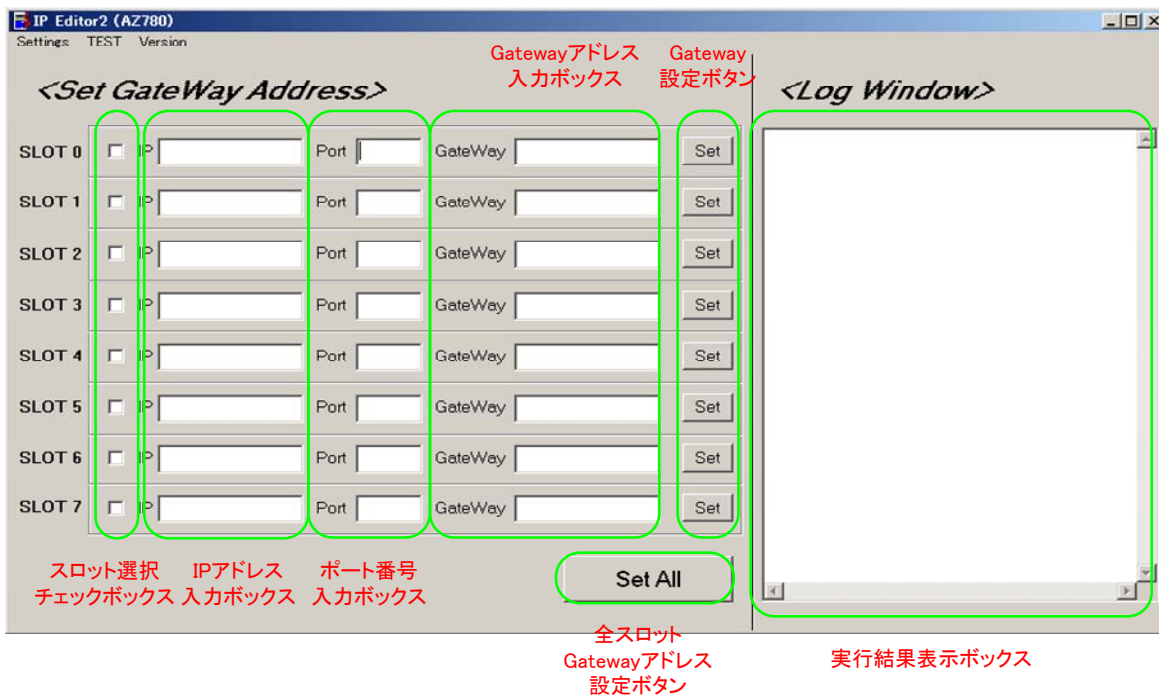
設定するポート番号を入力します。

- ポート番号設定ボタン
ポート番号を設定します。
- 全スロットポート番号設定ボタン
スロット選択チェックボックスがチェックされているスロットに対し、ポート番号の設定を行います。
- 実行結果表示ボックス
ポート番号設定の実行結果が表示されます。

3. 3 Gateway アドレス設定画面

メニューから Settings - Gate Way を選択した際に表示されます。

Gateway アドレスを設定する際に使用します。



- スロット選択チェックボックス

全スロット Gateway アドレス設定ボタンを押した際に、Gateway アドレスの設定を行うかどうかを選択します。

チェックのついているスロットだけ、Gateway アドレスの設定が行われます。

- IP アドレス入力ボックス

Gateway アドレスを設定するスロットの IP アドレスを入力します。

- ポート番号入力ボックス

Gateway アドレスを設定するスロットのポート番号を入力します。

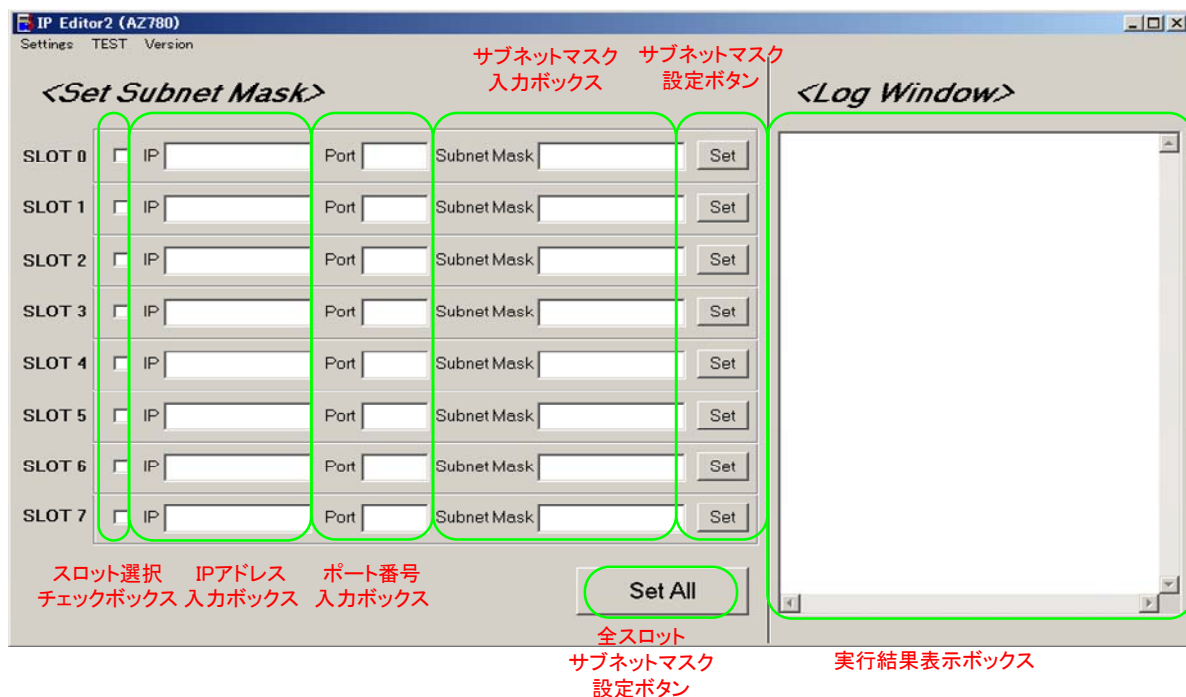
- Gateway アドレス入力ボックス

設定を行う Gateway アドレスを入力します。

- Gateway アドレス設定ボタン
Gateway アドレスの設定を行います。
- 全スロット Gateway アドレス設定ボタン
スロット選択チェックボックスがチェックされているスロットに対し、Gateway アドレスの設定と確認を行います。
- 実行結果表示ボックス
Gateway アドレス設定の実行結果を表示します。

3. 4 サブネットマスク設定画面

メニューから Settings - Subnet Mask を選択した際に表示されます。
サブネットマスクを設定する際に使用します。



- スロット選択チェックボックス
全スロットサブネットマスク設定ボタンを押した際に、サブネットマスクの設定を行うかどうかを選択します。
チェックのついているスロットだけ、サブネットマスクの設定が行われます。
- IP アドレス入力ボックス
サブネットマスクを設定するスロットの IP アドレスを入力します。
- ポート番号入力ボックス
サブネットマスクを設定するスロットのポート番号を入力します。
- サブネットマスク入力ボックス
設定を行うサブネットマスクを入力します。

- サブネットマスク設定ボタン
サブネットマスクの設定を行います。
- 全スロットサブネットマスク設定ボタン
スロット選択チェックボックスがチェックされているスロットに対し、サブネットマスクの設定と確認を行います。
- 実行結果表示ボックス
サブネットマスク設定の実行結果を表示します。

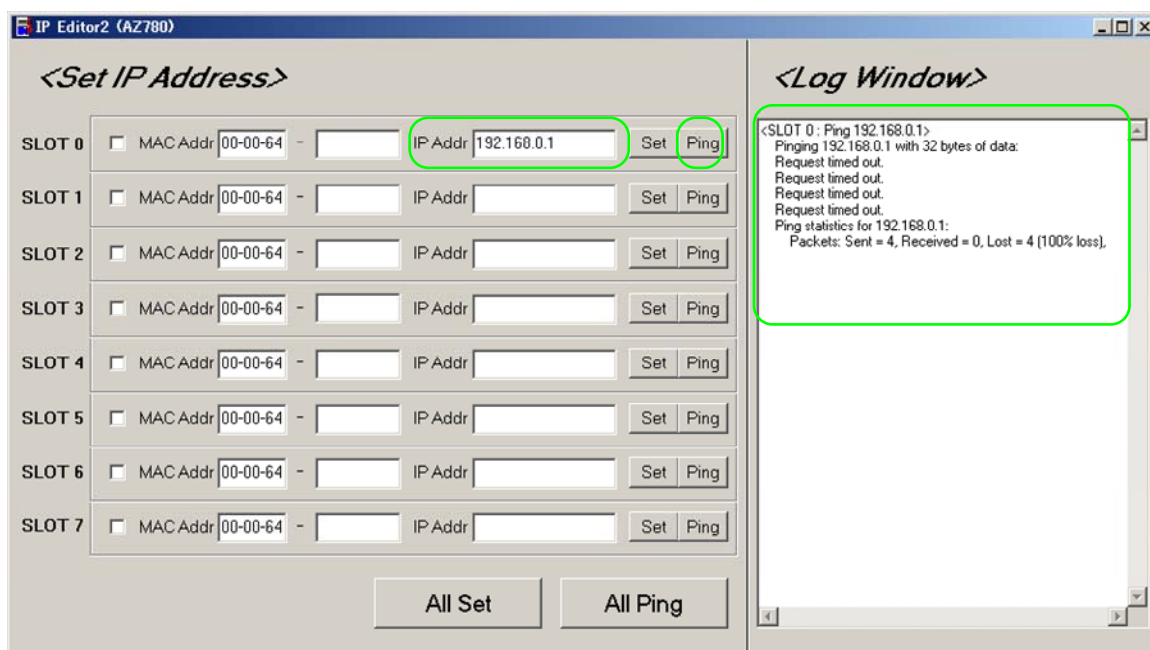
4. IP アドレス設定手順

本章では IP アドレスの設定手順を示します。

下記 IP 設定を行う前に、G-NETIMPRESS の電源を 1 度入り切りしてください。
G-NETIMPRESS の電源の入り切りを行わない場合、正常に IP が設定されない可能性がありますのでご注意ください。

①IP アドレスの確認

設定を行おうとしている IP アドレスが、既に他のネットワーク機器に割り当てられているかを確認します。



まずは IP アドレス設定ボックスに設定をしたい IP アドレスを入力します。

次に IP アドレス確認ボタンを押します。

確認結果が実行結果表示ボックスに表示されます。

“Request timed out”と表示されている場合には、その IP アドレスは他のネットワーク機器に割り当てられていません。

“Reply from ~”と表示されている場合には、他のネットワーク機器に割り当てられている IP ですので、その IP をプログラマユニットに割り当てることはできません。

(割り当てられていない場合の表示例)

```
<SLOT 0 : Ping 192.168.0.1>
  Pinging 192.168.0.1 with 32 bytes of data:
  Request timed out.
  Request timed out.
  Request timed out.
  Request timed out.
  Ping statistics for 192.168.0.1:
    Packets: Sent = 4, Received = 0, Lost = 4 (100% loss),
```

(他のネットワーク機器に既に割り当てられている場合の表示例)

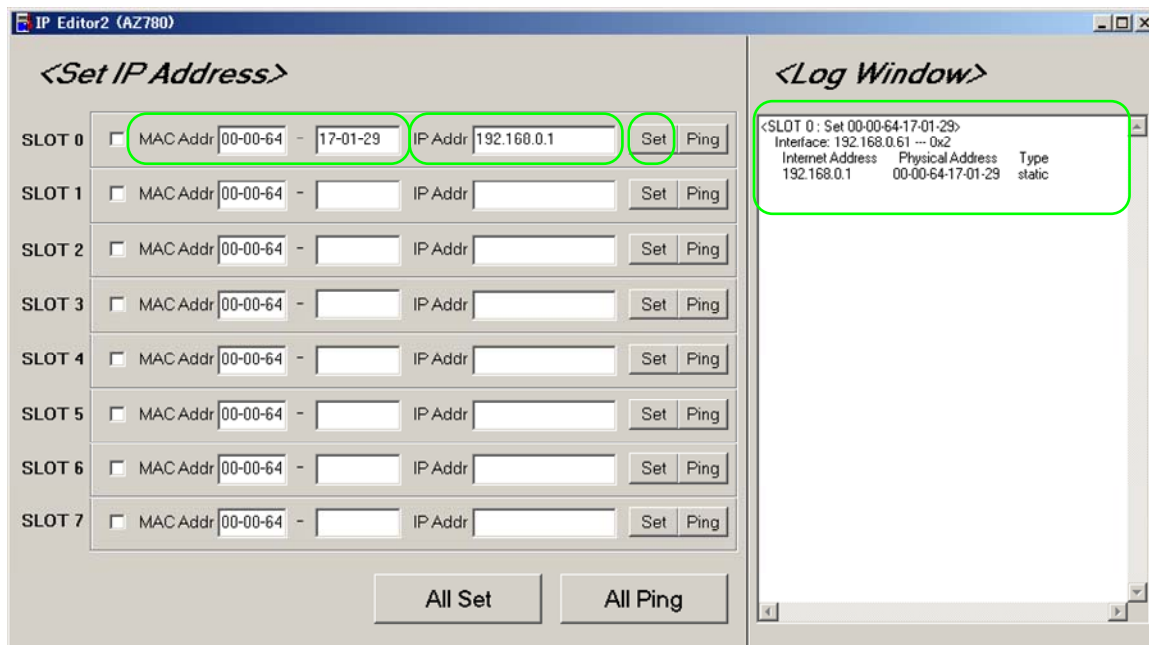
```
<SLOT 0 : Ping 192.168.0.1>
  Pinging 192.168.0.1 with 32 bytes of data:
  Reply from 192.168.0.1: bytes=32 time=1ms TTL=30
  Reply from 192.168.0.1: bytes=32 time<1ms TTL=30
  Reply from 192.168.0.1: bytes=32 time<1ms TTL=30
  Reply from 192.168.0.1: bytes=32 time<1ms TTL=30
  Ping statistics for 192.168.0.1:
    Packets: Sent = 4, Received = 4, Lost = 0 (0% loss),
  Approximate round trip times in milli-seconds:
    Minimum = 0ms, Maximum = 1ms, Average = 0ms
```

*OS やネットワーク状況によって、若干異なります。

*複数の IP を同時に確認する場合には、全スロット IP 確認ボタンを使用してください。

②IP アドレスの設定

IP アドレスをプログラマユニットに設定します。



MAC アドレス入力ボックスに IP を設定したいプログラマユニットの MAC アドレスを設定します。

IP アドレス設定ボックスに設定を行う IP アドレスを設定します。

IP アドレス設定ボタンを押します。

設定が終わると、実行結果表示ボックスに IP アドレスと MAC アドレスの対応表が表示されます。

(対応表の例)

<SLOT 0 : Set **00-00-64-XX-XX-XX**>

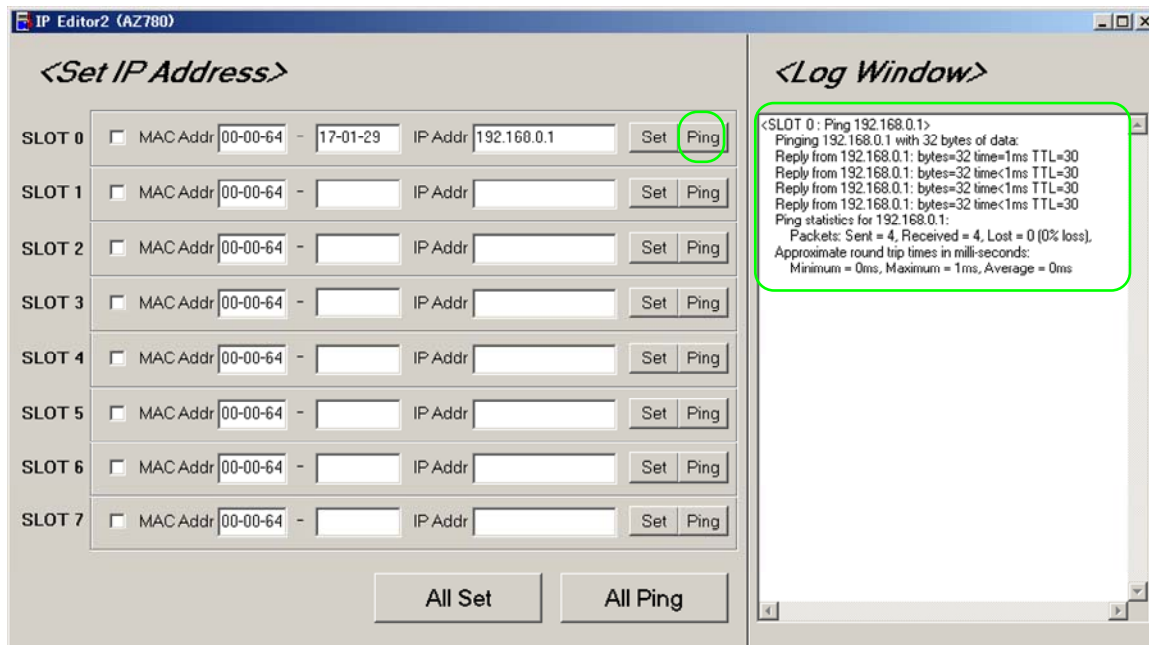
Interface: 192.168.0.2 --- 0x2

Internet Address	Physical Address	Type
192.168.0.1	00-00-64-XX-XX-XX	static

- *複数のプログラマユニットに対し、一度に IP アドレスの設定を行う場合には、全スロット IP アドレス設定ボタンを使用してください。
- *設定を行う IP アドレスは、PC と同じネットワークアドレスである必要があります。ネットワークアドレスが異なる場合には正しく IP アドレスの設定が行えません。

③IP アドレス設定の確認

最後に、IP アドレスが正しく設定されているかを確認します。



再度、IP アドレス確認ボタンを押します。

実行結果表示画面にて、通信が確立されているかを確認してください。

(通信が確立されている場合の表示例)

<SLOT 0 : Ping 192.168.0.1>

Pinging 192.168.0.1 with 32 bytes of data:

Reply from 192.168.0.1: bytes=32 time=1ms TTL=30

Reply from 192.168.0.1: bytes=32 time<1ms TTL=30

Reply from 192.168.0.1: bytes=32 time<1ms TTL=30

Reply from 192.168.0.1: bytes=32 time<1ms TTL=30

Ping statistics for 192.168.0.1:

Packets: Sent = 4, Received = 4, Lost = 0 (0% loss),

Approximate round trip times in milli-seconds:

Minimum = 0ms, Maximum = 1ms, Average = 0ms

(通信が確立されていない場合の表示例)

```
<SLOT 0 : Ping 192.168.0.1>
```

```
  Pinging 192.168.0.1 with 32 bytes of data:
```

```
  Request timed out.
```

```
  Request timed out.
```

```
  Request timed out.
```

```
  Request timed out.
```

```
  Ping statistics for 192.168.0.1:
```

```
    Packets: Sent = 4, Received = 0, Lost = 4 (100% loss),
```

*OS やネットワーク状況によって、若干異なります。

通信が確立されていない場合には、PC のネットワーク設定や、Ethernet 接続状態を確認し、再度①から行ってください。

5. エラーメッセージ一覧

エラーメッセージ	内容	対応
IP Address Error!	IP アドレスが正しくありません。	正しい IP アドレスを入力してください。
Ping Exec Error!	Ping 実行時にエラーが発生しました。	予期せぬエラーが発生しました。
MAC Address Error!	MAC アドレスが正しくありません。	正しい MAC アドレスを入力してください。
Set Exec Error!	IP アドレス設定時にエラーが発生しました。	予期せぬエラーが発生しました。
Port No Error!	ポート番号が入力されていません。	ポート番号を入力してください。
Connection Error!	ライタとの接続時にエラーが発生しました。	ライタとの接続を確認してください。
Set Port Error!	ポート設定時にエラーが発生しました。	予期せぬエラーが発生しました。
Gateway Address Error!	Gateway アドレスが正しくありません。	正しい Gateway アドレスを入力してください。
Set Gateway Address Error!	Gateway アドレス設定時に エラーが発生しました。	予期せぬエラーが発生しました。
Subnet Mask Error!	サブネットマスクが正しくありません。	正しいサブネットマスクを入力してください。
Set Subnet Mask Error!	サブネットマスク設定時に エラーが発生しました。	予期せぬエラーが発生しました。
Communication Check Error!	Communication Check 実行時に エラーが発生しました。	予期せぬエラーが発生しました。
Can not Connected.	ライタとの接続に失敗しました。	ライタとの接続を確認してください。

NET IMPRESS お問い合わせ先

株式会社D T Sインサイト

〒151-0053 東京都渋谷区代々木 4-30-3 新宿 MIDWEST ビル

E-mail: support-impress@dts-insight.co.jp

<NET IMPRESS ホームページアドレス>

https://www.dts-insight.co.jp/support/support_netimpress/top/index.php?m=Top